

全国の汚水処理人口普及率 84.8%に（平成 20 年度末）



農林水産省、国土交通省、環境省は、平成 20 年度末の全国の汚水処理人口普及状況を取りまとめました。

平成 20 年度末の全国の汚水処理施設の処理人口は、平成 19 年度末から 139 万人増加し、1 億 774 万人になりました。これを総人口に対する割合でみた汚水処理人口普及率は、84.8%となり、平成 19 年度の 83.7%より 1.1%増加しました。

しかし、我が国における汚水処理人口普及状況は、大都市と中小市町村で大きな格差があり、特に人口 5 万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は 69.3%にとどまっている状況にあります。

処理施設別処理人口の内訳としては、下水道が 9,241 万人（平成 19 年度末では 9,111 万人）、農業集落排水施設等によるものが 374 万人（平成 19 年度末では 370 万人）、浄化槽によるものが 1,127 万人（平成 19 年度末では 1,121 万人）、コミュニティ・プラントによるものが 31 万人（平成 19 年度末では 33 万人）となっています。

当社では排水の他にも、様々な種類の水質分析についての長年の経験と実績があります。お気軽にご相談ください。

資料 2009 年 8 月 20 日付 環境省 報道発表資料

水質分析箇所 大塚卓也